

市長定例会見

2025年4月22日

今日お伝えしたいこと

BE KOBE

“神戸ウォーターフロント グランドデザイン”の策定

ウォーターフロント開発のあゆみ

BE KOBE

1868 年

神戸港 開港

1900 ~ 40 年代

近代港湾の形成

(新港突堤、中突堤)

1960 ~ 80 年代

港湾物流のコンテナ化

(ポートアイランド、六甲アイランド)

1970 ~ 80 年代

メリケンパーク

・ハーバーランド 開発

1995 年

阪神・淡路大震災

2012 年

ウォーターフロント再開発 スタート

中突堤～新港突堤 (1970年頃)



ウォーターフロント再開発の状況

BE KOBE



神戸ウォーターフロントグランドデザイン

BE KOBE

概要

概ね10～15年間

今後、2040年頃までに

ウォーターフロントエリアで

取り組む施策の方針



<コンセプト>

海、山、空を感じ、みなとのまちの歴史と

未来をつなぐ、新たな価値創造

ウォーターフロントの戦略

BE KOBE

移動・回避

戦略

1

居心地がよく、歩きたくなる空間

THEME

- ・ ウォーカブルな空間整備
- ・ 新たな交通システム(LRT等)の導入
- ・ デジタル技術の実装

緑とオープンスペース

戦略

2

海をのぞみ、自然を感じる風景

THEME

- ・ 海を感じる風景・眺望
- ・ 緑のネットワーク(グリーンコネクト)
- ・ 気候変動への対応

夜景・ナイトタイムエコノミー

戦略

3

神戸を象徴し、人を誘う夜景

THEME

- ・ 上質なライトアップやイルミネーション
- ・ 夜型観光コンテンツの充実

民間投資によるまちづくり

戦略

4

産官学によるまちづくり

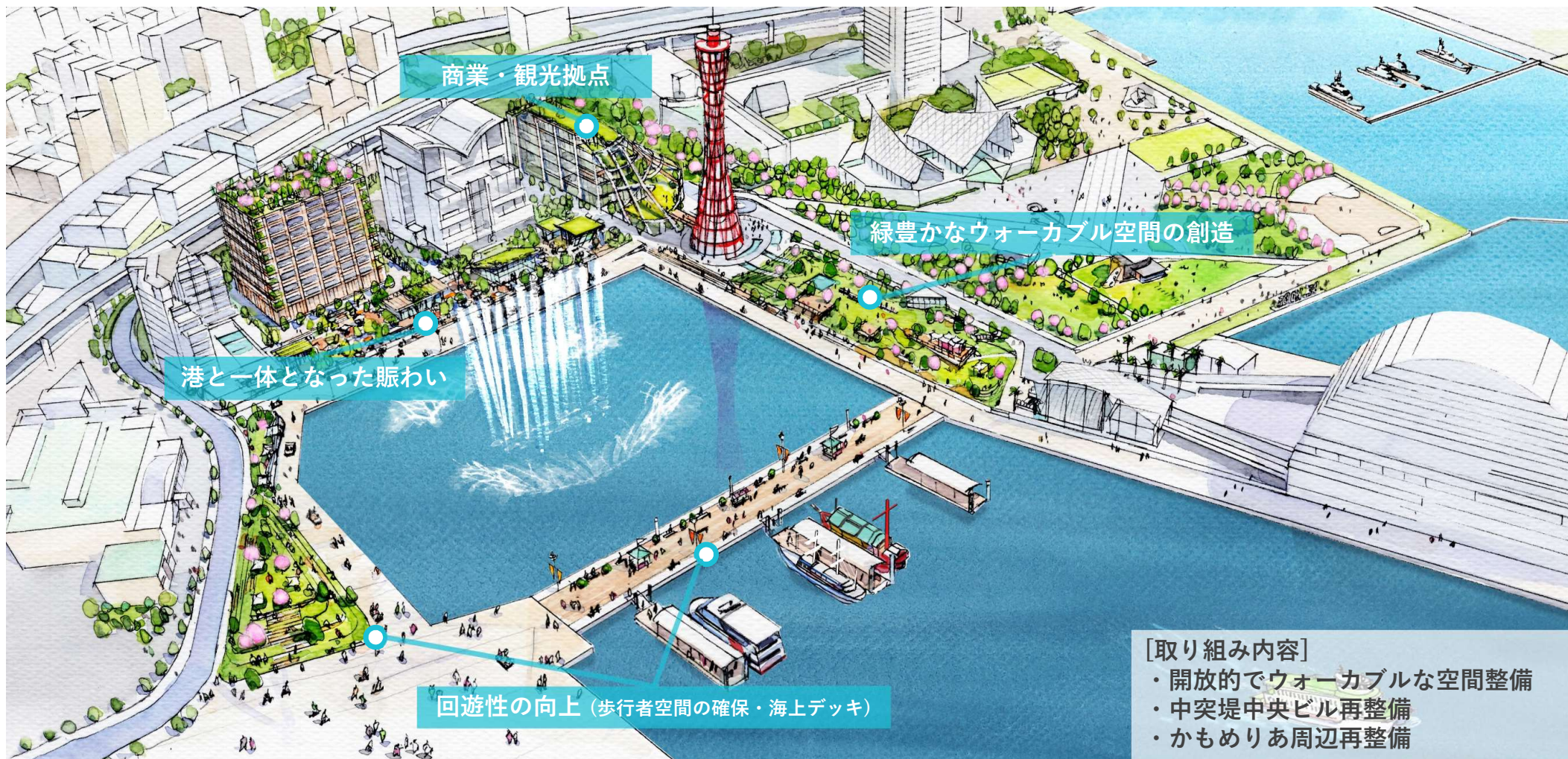
THEME

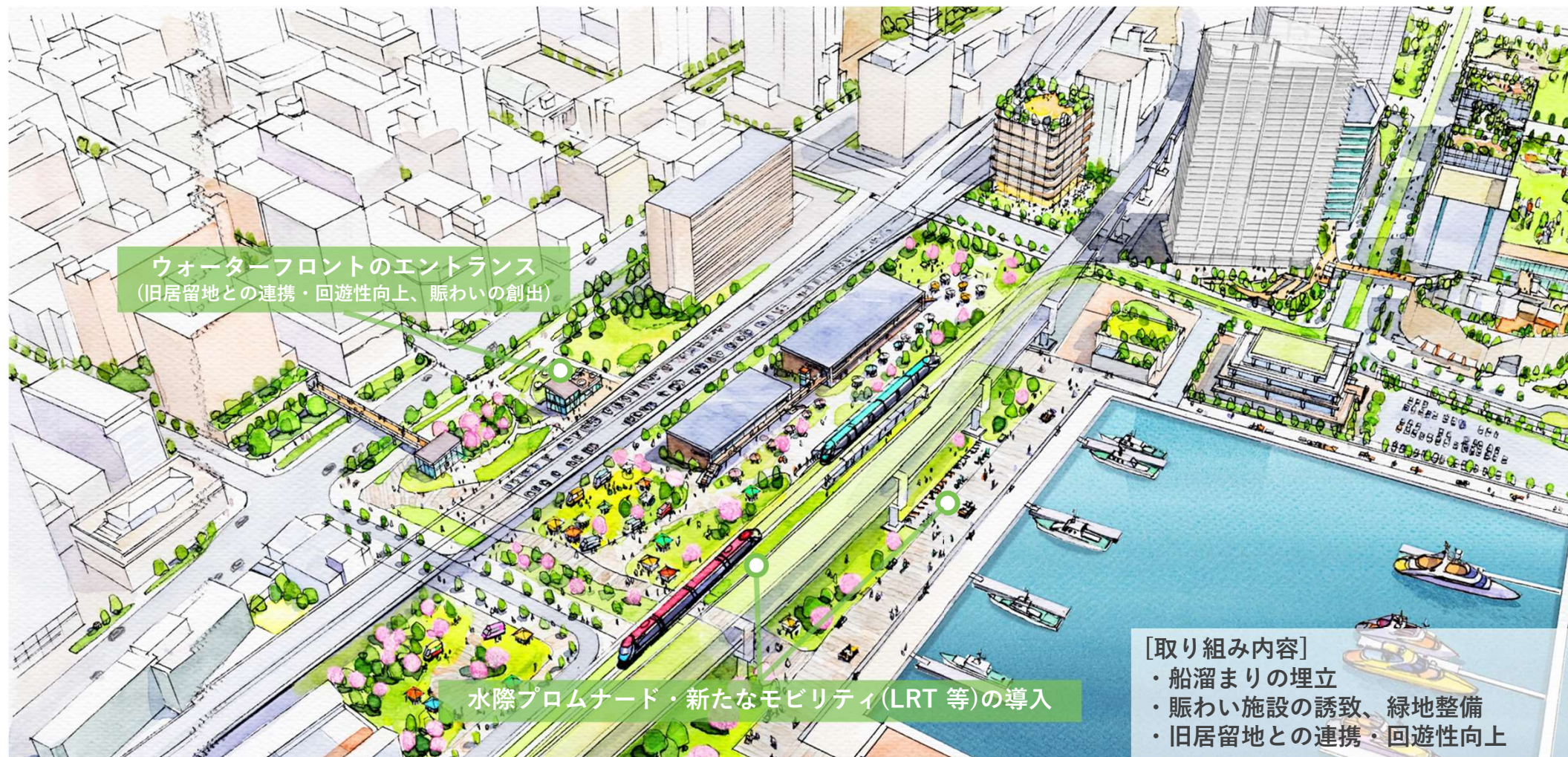
- ・ 民間投資を誘発する公共投資・規制緩和
- ・ 高質なオープンスペースや回遊デッキの整備
- ・ エリアマネジメントによる賑わい創出

中突堤周辺



BE KOBE





新港突堤西



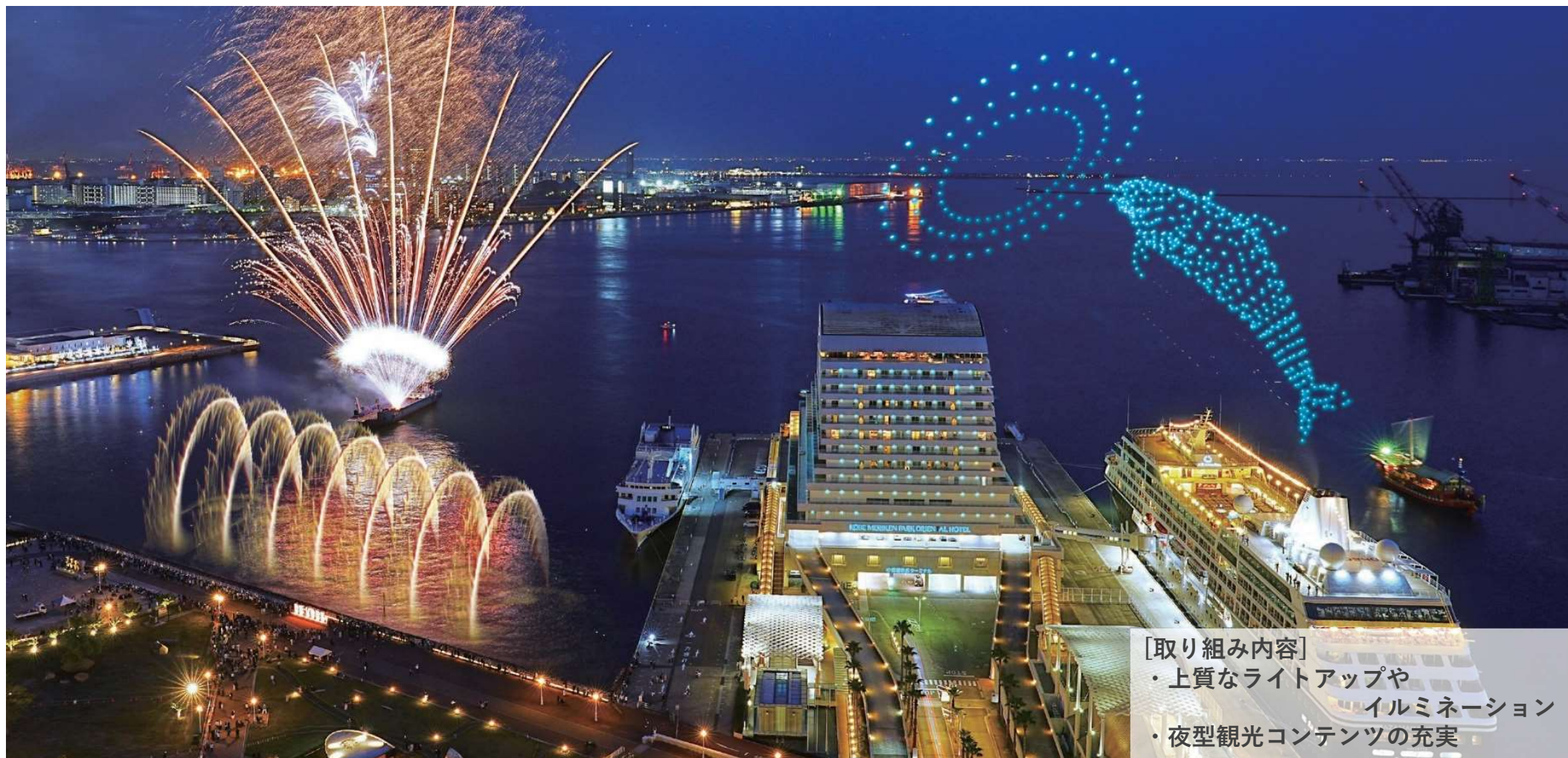
BE KOBE



夜間景観



BE KOBE



[取り組み内容]

- ・ 上質なライトアップやイルミネーション
- ・ 夜型観光コンテンツの充実

将来イメージ (2040 年頃)

BE KOBE

